

新型コロナウイルス感染症について

1. 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策

ワクチン接種後も、「マスクの着用」や「手洗い」、「3密（密接・密集・密閉）の回避」などを徹底してください。

特にオミクロン株の特徴を踏まえ以下のような感染対策を徹底し、感染リスクを減らすように心がけてください。

- ・ 飲食は、なるべく長時間を避け、大声を出さないようにすること。
- ・ 家庭内においても、室内を定期的に換気するとともに、こまめに手洗いを行うこと。
- ・ 高齢者や基礎疾患のある方は、いつも会う人と少人数で会うこと。

2. もし発熱したら・・・受診するための3ステップ

※まずは、かかりつけ医に相談してください。かかりつけ医で対応できない場合には、

- 1 「埼玉県指定診療・検査医療機関」を検索**
- 2 受診の予約** 必ず事前に予約してください
- 3 受診** 必ず予約した医療機関で受診してください

（受診の際は、必ずマスクを着用しましょう・公共交通機関の利用は控えましょう・医療機関の指示事項を守りましょう・検査は医師が必要と認めた場合に行います）

3. 自宅療養期間（9月7日より療養期間等が一部見直されました）

①有症状者

発症日から**7日間経過し、かつ、症状軽快後24時間経過した場合**には**8日目から解除**が可能となります。

※現に入院している方（変更なし）

発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快後72時間経過した場合に、11日目から解除が可能となります。

※療養期間中の外出自粛について有症状者の場合で症状軽快から24時間経過後または無症状の場合には、外出時や人と接する際に、必ずマスクを着用するなど自主的な感染予防行動を徹底することを前提に、食料品の買い出しなど必要最小限の外出を行うことは差し支えありません。

②無症状者（変更なし）

検体採取日から7日間を経過した場合には8日目から解除が可能となります。（5日目の検査キットによる検査で陰性を確認した場合は6日目から解除となります）

4. 新型コロナ後遺症かな？と思ったら

新型コロナウイルス感染症の後遺症（新型コロナ後遺症）は、感染後、療養期間が終了したにもかかわらず、症状が慢性化したり、異なる症状が新たに発生する症状です。

代表的な症状として、倦怠感、咳・痰、嗅覚・味覚障害、脱毛、頭痛、集中力低下、抑うつなどがあります。

埼玉県では、新型コロナ後遺症に苦しむ方が、スムーズに受診できるよう、後遺症外来を実施する医療機関を県のホームページで公開しています。

ご家族や職場・学校の方へ

新型コロナ後遺症は不明な点が多く、重症化・長期化の恐れもあります。安心して治療に専念できるよう、周囲の方のご理解とご協力をお願いします。

地

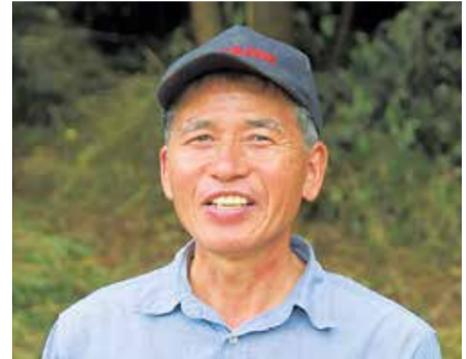
域おこし協力隊とは、地方自治体から移住者を『地域おこし協力隊員』として任命し、様々な地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みで、越生町では、現在2名の隊員を任命しています。今回、8月から隊員として活動を開始した鳥田昭成さんを紹介いたします。

現状の課題

手入れがされなくなり、密

森林環境保全

「越生町に限らず、人の手が入らない山全体が荒れた状態になっていきます。アクセスが良く、自然が豊かである町の魅力をもっと発信するためにも、山に限らず里山の整備が必要となっていきます」と話す鳥田さん。



越生町地域おこし協力隊

しまだ あきなり
鳥田 昭成さん

熊本県天草市出身
デザイン学校を卒業後、イベント会社、印刷関連会社を経て独立。フリーのグラフィックデザイナーとして20年活動後、ニューサンピア埼玉おごせにて11年勤務し、企画営業を担当。
定年を機にはじめた森林関係の仕事しながら、森の間伐作業を子どもから高齢者まで参加できるイベントとして行っている。

新しい地域おこし協力隊員を紹介します



①皮むき間伐の様子 ②作業の様子 ③実際に使われているベンチ ④間伐材を利用した分解できるベンチ

鳥田さんの行っている間伐は、木を伐採しない状態で樹皮をむき、そのまま乾燥させ、枯れた木を伐採します。
「小さな子どもから年配の人まで参加できる間伐の体験イベントを開催し、実際に体験することで山や森の重要性や楽しさを知って欲しい」と鳥田さんは話します。

これからの活動について
町有林を整備し、こどもが森に入って遊べる空間にしていき、森を活用した教育への展開を行っていきます。
また、町の人たちが楽しめる、コンサートイベントの企画もおこなって町民交流の活性化ができればと思っています。